

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【公開番号】特開 2000-279505 (P2000-279505A)

【公開日】平成 12 年 10 月 10 日 (2000.10.10)

【出願番号】特願 平 11-88591

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 L 9/16

A 6 1 L 9/01

A 6 1 L 9/20

B 0 1 D 39/14

【F I】

A 6 1 L 9/16 F

A 6 1 L 9/01 B

A 6 1 L 9/20

B 0 1 D 39/14 E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 11 日 (2003.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通気性基材に脱臭剤を担持してなる脱臭フィルターとエレクトレットフィルターとを重ね合わせてなる脱臭性エレクトレットフィルター。

【請求項 2】

脱臭フィルターの圧力損失 (A) とエレクトレットフィルターの圧力損失 (B) との比 (A / B) が 0.1 ~ 1 の範囲にあることを特徴とする請求項 1 記載の脱臭性エレクトレットフィルター。

【請求項 3】

脱臭フィルターとエレクトレットフィルターとの間に不連続高分子層が存在することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の脱臭性エレクトレットフィルター。

【請求項 4】

脱臭フィルターとエレクトレットフィルターが部分的に交絡されてなる請求項 1 記載の脱臭性エレクトレットフィルター。

【請求項 5】

脱臭フィルターとエレクトレットフィルターとを重ね合わせた後に帯電加工してなる請求項 1 ~ 4 の何れかに記載の脱臭性エレクトレットフィルター。

【請求項 6】

脱臭剤が塩基性ガス吸着剤またはアルデヒド吸着剤であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れかに記載の脱臭性エレクトレットフィルター。

【請求項 7】

通気性基材に脱臭剤を担持してなる脱臭フィルターとエレクトレットフィルターとを融着、接着、縫合または交絡によって一体化することを特徴とする脱臭性エレクトレットフィルターの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

本発明の脱臭性エレクトレットフィルターは、所望によりハニカム状に成形加工を施しても良い。ハニカムとは開孔を有するセル壁からなる構造体であり、ハニカムの具体例として、JIS-Z-1516に記載の「外装用段ボール」に準拠して作製される片面段ボールを積層してなるコルゲートハニカム、六角形セルからなるヘキサゴンハニカム、正方形セルからなるハニカム、三角形セルからなるハニカム、および中空円筒状セルを集合してなるハニカムなどが挙げられる。ここで、六角形や正方形などのセル形状は正式な多角形ではなく、角が丸いまたは辺が曲がっているなどした異形であっても良い。